

## 2021年度 ペット用品産業実態調査

本調査は、「ペットフード安全法」が2009年に施行され、ペット産業動向への関心が益々高まっていることから、ペット用品産業の出荷動向等の実態を把握し、今後のペット用品産業の取り組み施策への資料として活用するために実施しています。

また、本調査から求められたペット用品の生産・出荷金額や流通実態につきましては、ペット用品業界のみならず、経済産業省等の関係省庁でも行政施策の基礎資料として活用されております。

### <調査方法>

コロナ禍の2020年度(2020年4月1日～2021年3月31日)と、2021年度(2021年4月1日～2022年3月31日)の2年間の出荷金額を、ペット用品カテゴリ全てを対象にアンケート調査を行いました。今回も犬用・猫用のジャーキー等のスナックを除外しました。アンケート調査は、当工業会会員企業を含めてペット用品関連メーカー様103社にご協力をいただきました。

	2020年度出荷金額	2021年度出荷金額	前年比	前回 2020年度回答社数	今回 2021年度回答社数
犬用品	70,299百万円	71,794百万円	102.1%	67社	70社
猫用品	43,405百万円	46,148百万円	106.3%	47社	56社
観賞魚用品	18,601百万円	19,401百万円	104.3%	23社	23社
小鳥用品	2,815百万円	2,896百万円	102.9%	13社	14社
小動物用品	9,113百万円	10,296百万円	113.0%	29社	32社
昆虫用品	1,982百万円	2,095百万円	105.7%	10社	11社
爬虫類用品	1,498百万円	1,907百万円	127.3%	9社	9社
合 計	147,713百万円	154,538百万円	104.6%	103社	103社

※1 前年比は回答社数に変動があるため、2020年と2021年の2年間の統計調査により算出しています。

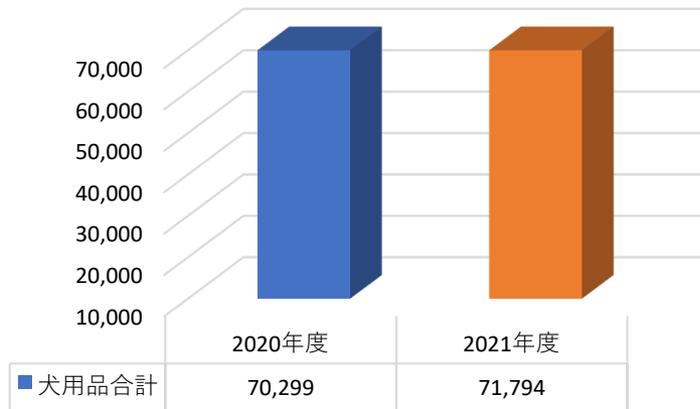
※2 2020年度、2021年度 2ヶ年を通じてコロナの影響が顕著に表れた結果となりました。

# 犬用品に関する統計結果 集計：70社

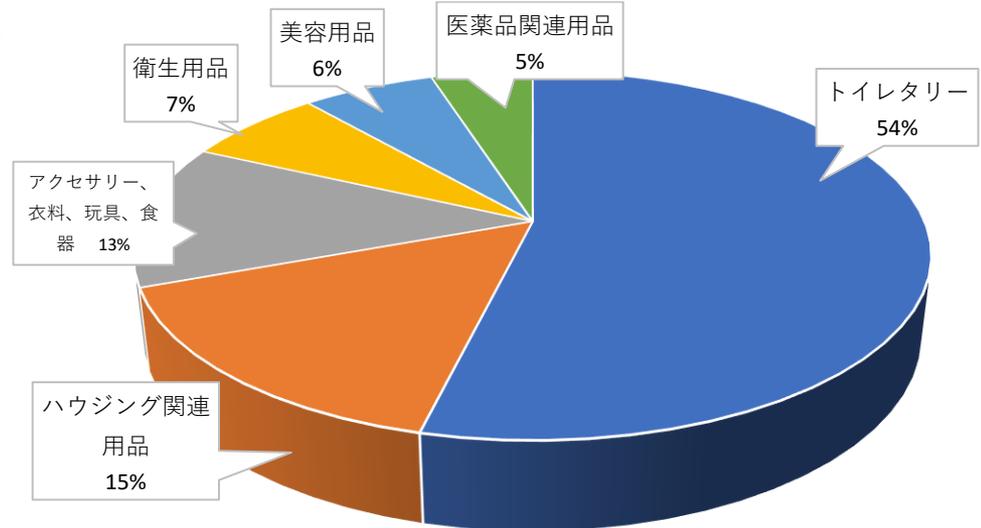
## ①出荷金額合計の年度比較(単位:百万円)

前年度比:102.1%

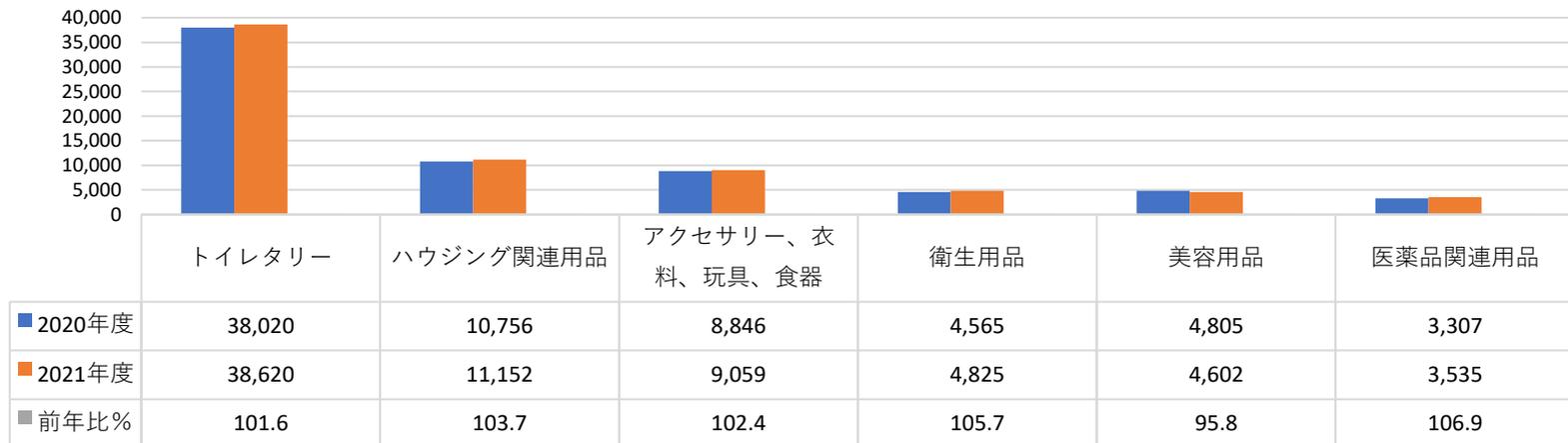
犬用品合計



## ②2021年度 カテゴリー構成



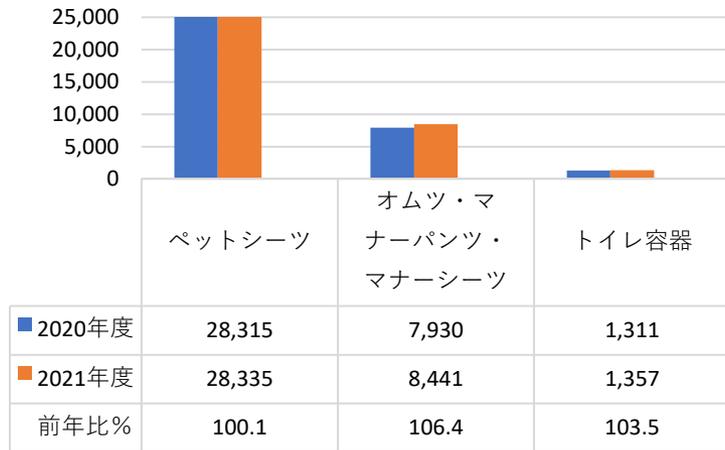
## ③カテゴリー別出荷金額の年度比較(単位:百万円)



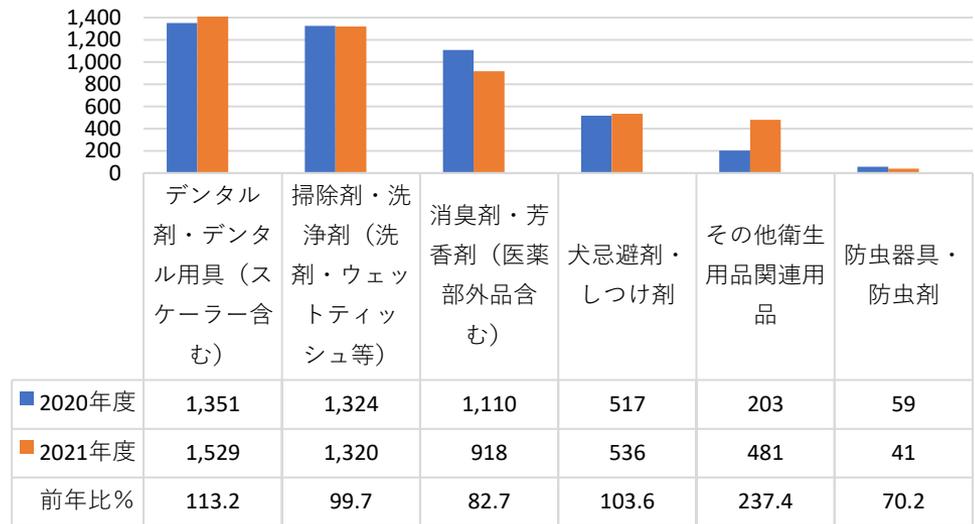
# 犬用品に関する統計結果

## ④商品分類別の年度比較(単位:百万円)

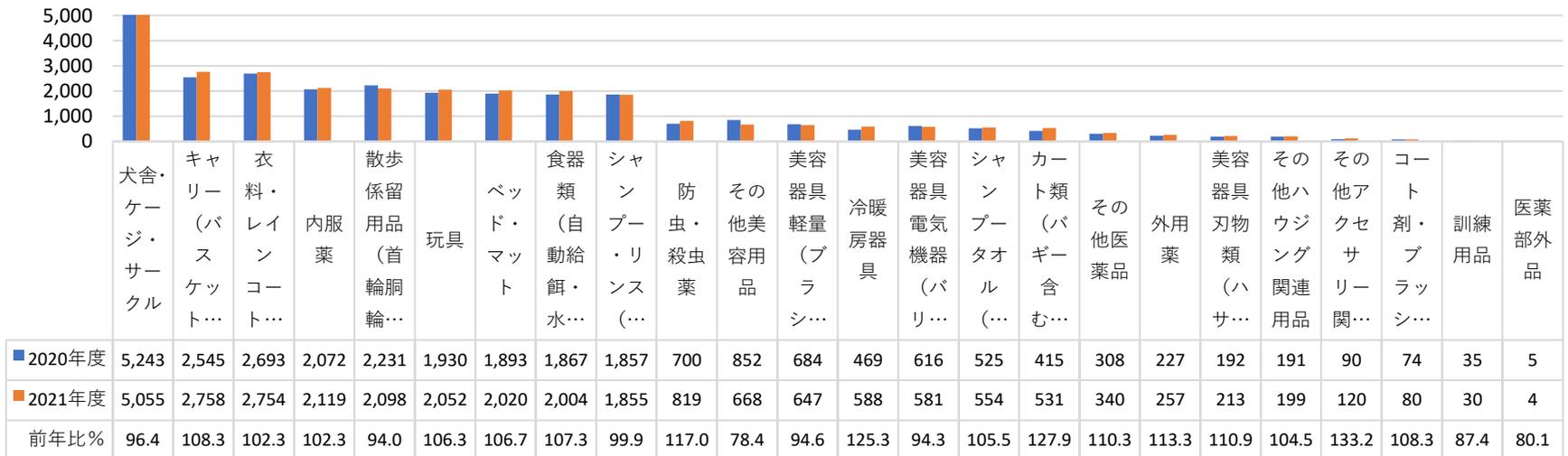
### ◇トイレタリー関連用品



### ◇その他用品2



### ◇その他用品1



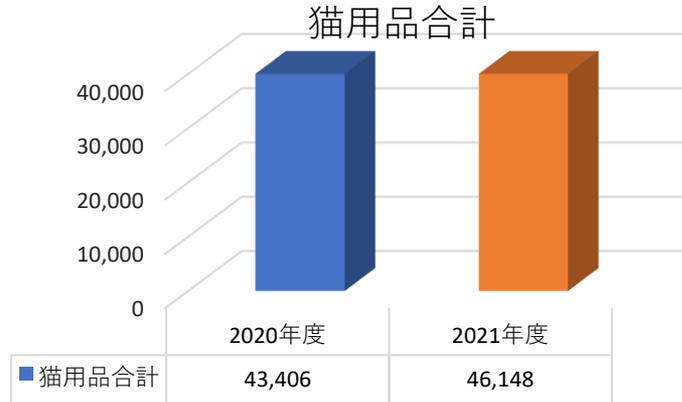
※ キャリー・カート類は、2020年度ではコロナの影響により落ち込んだが、2021年度では収束に向け増加している。

※ トイレタリー関連用品と、室内使用用品については、前年に続き、2年連続で増加傾向が継続している。

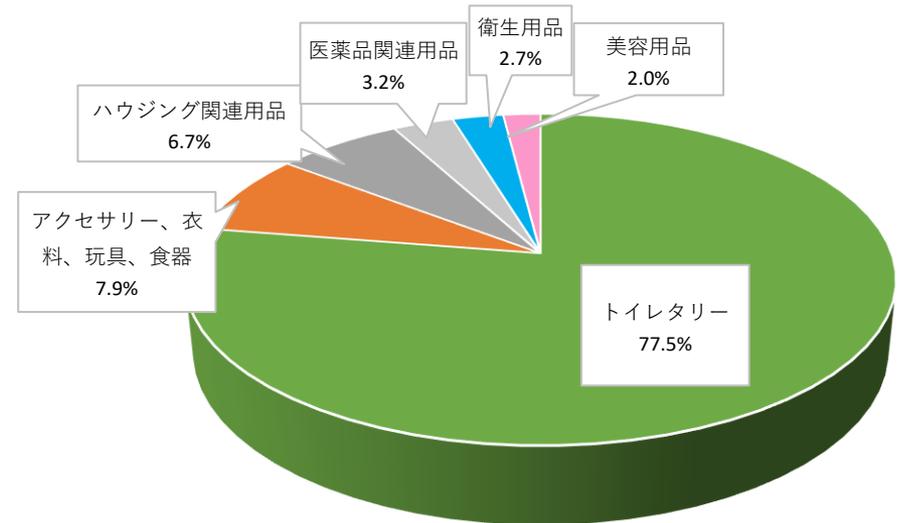
# 猫用品に関する統計結果 集計:56社

## ①出荷金額合計の年度比較(単位:百万円)

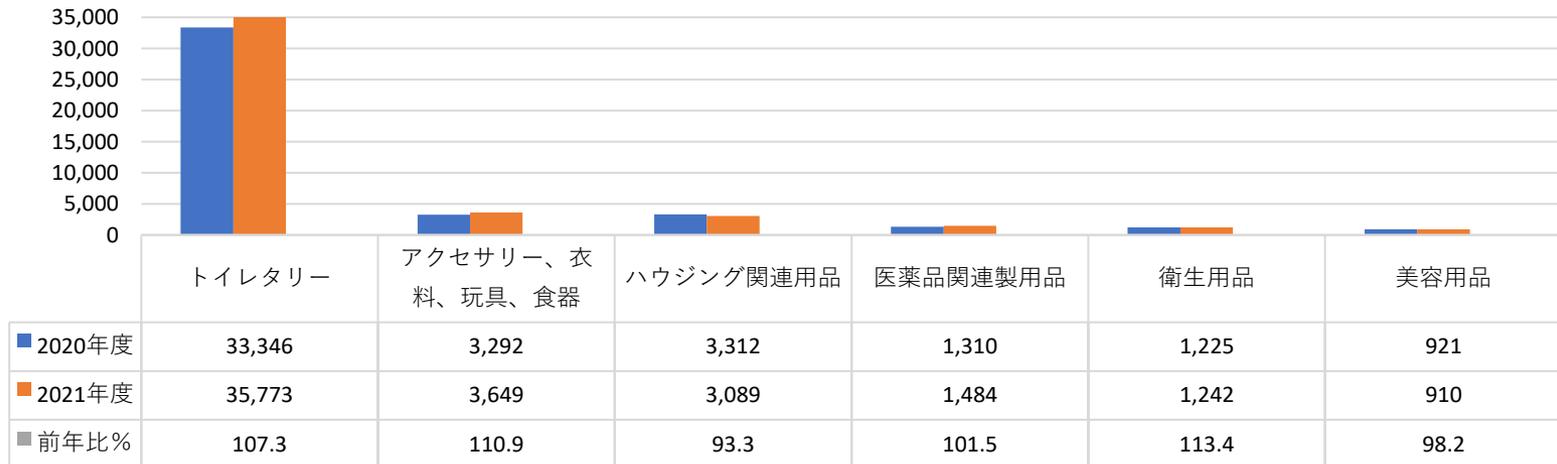
前年度比:106.3%



## ②2021年度 カテゴリー構成



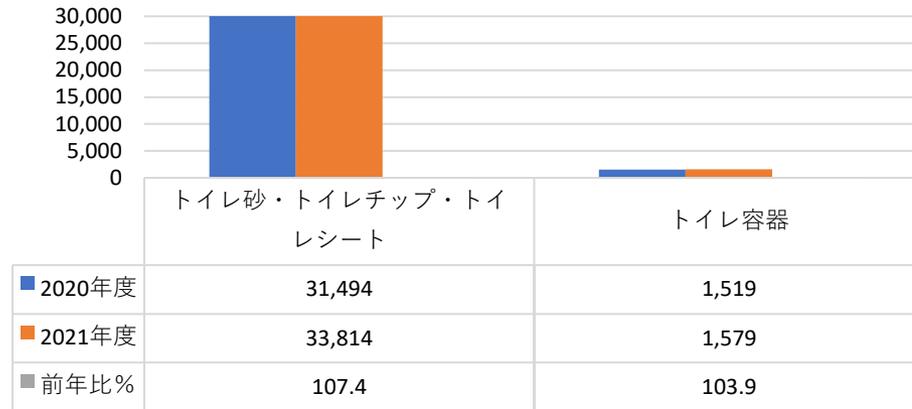
## ③カテゴリー別出荷金額の年度比較(単位:百万円)



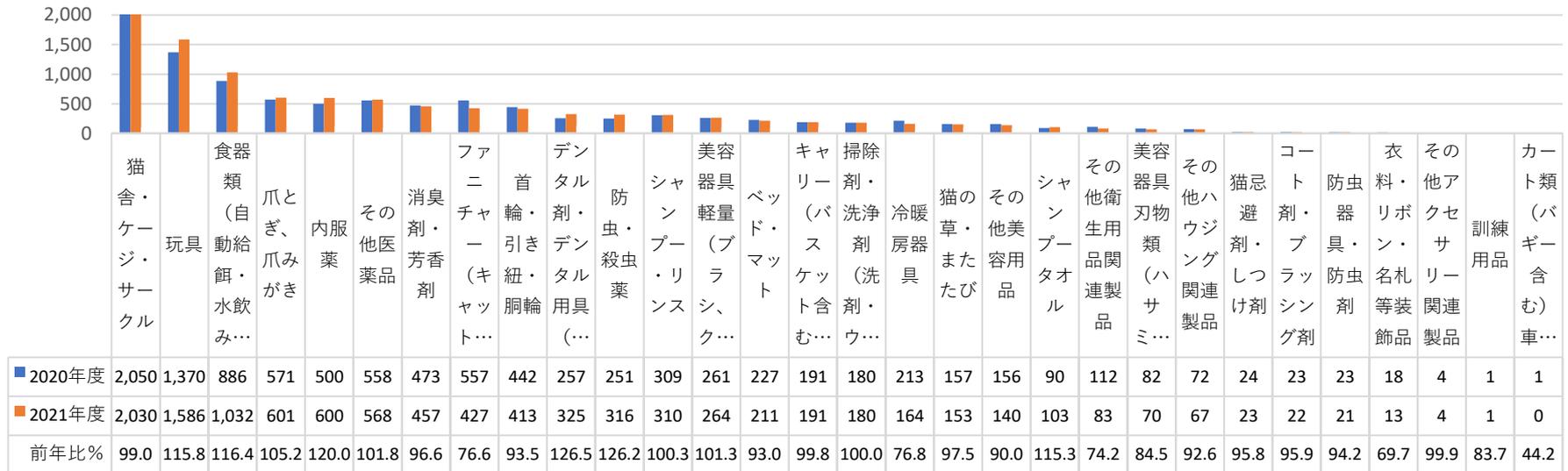
# 猫用品に関する統計結果

## ④商品分類別の年度比較(単位:百万円)

### ◇トイレタリー関連製品



### ◇その他用品

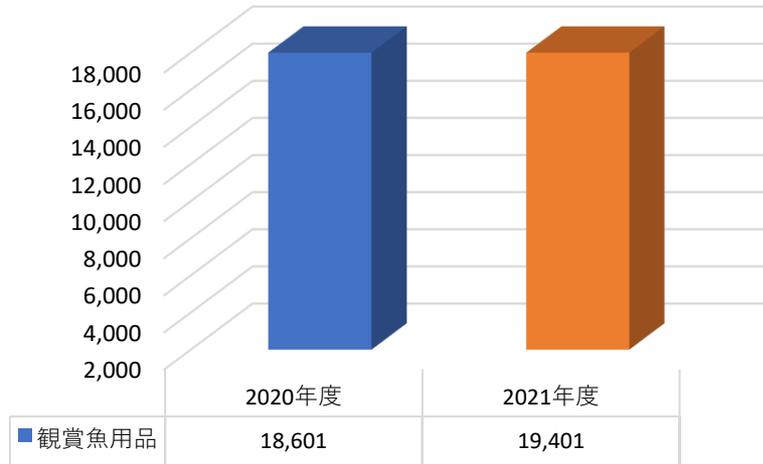


※ コロナの影響でトイレタリー関連用品、食器類、玩具の室内用品の伸び率が増え、今年度は特にリフィル等の売上が伸びている。  
 ※ ハウジング関連用品や、首輪等のアクセサリ用品は、2020年度の伸び率の反動で減少傾向にある。

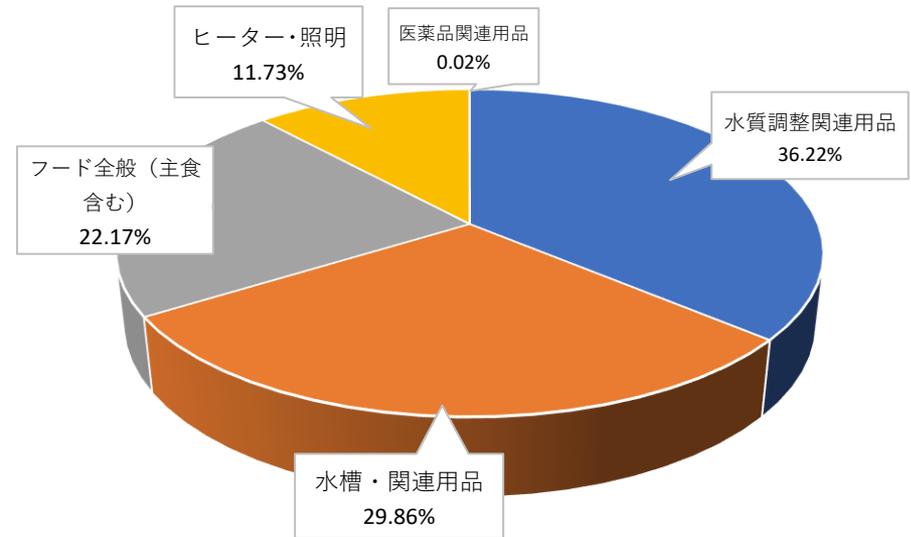
# 観賞魚用品に関する統計結果 集計:23社

## ①出荷金額合計の年度比較(単位:百万円)

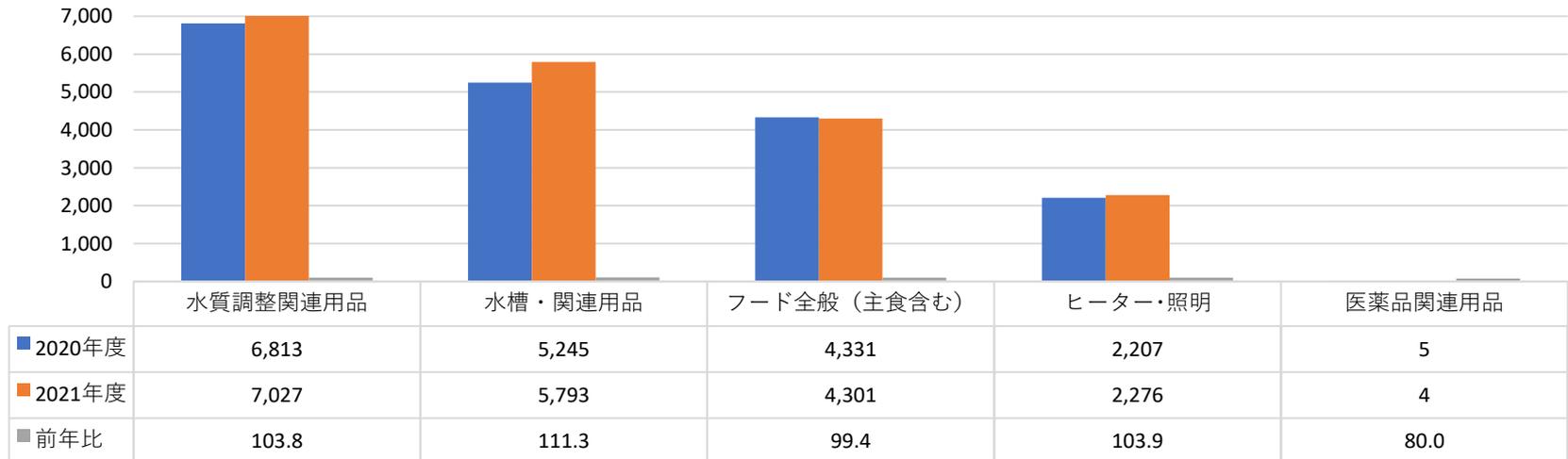
前年度比:104.3%



## ②2021年度 カテゴリー構成



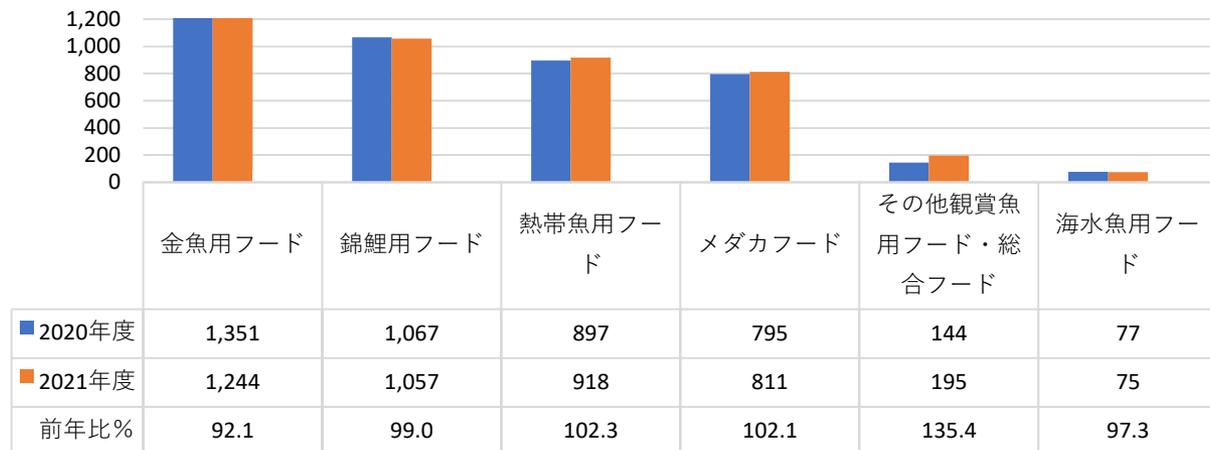
## ③カテゴリー別出荷金額の年度比較(単位:百万円)



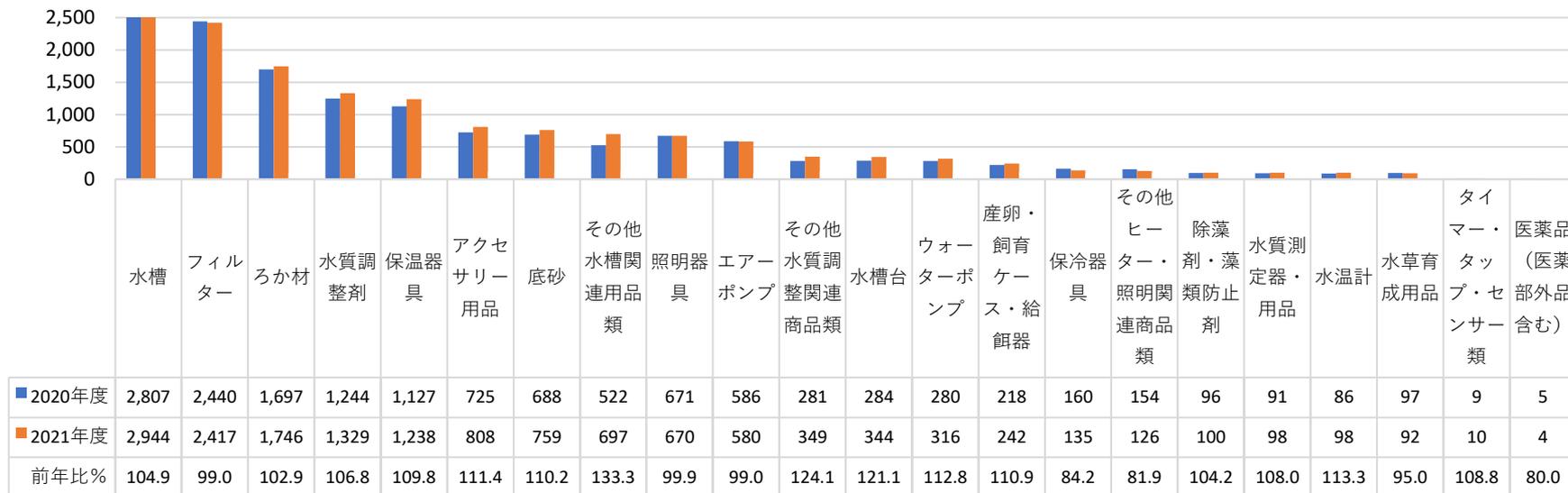
# 観賞魚用品に関する統計結果

## ④商品分類別の年度比較(単位:百万円)

### ◇フード全般



### ◇その他用品

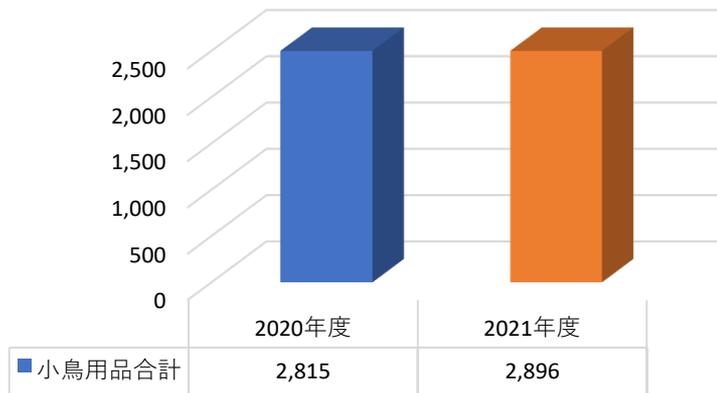


※ 金魚すくい<sup>1)</sup>の減少により、金魚用フードが減少傾向にあるが、メダカブームにより室内飼育が増えると同時にフードの売上も増加。  
 ※ 新規飼育者が増え、水質関連商品の伸び率が前年に続き上昇傾向にある。

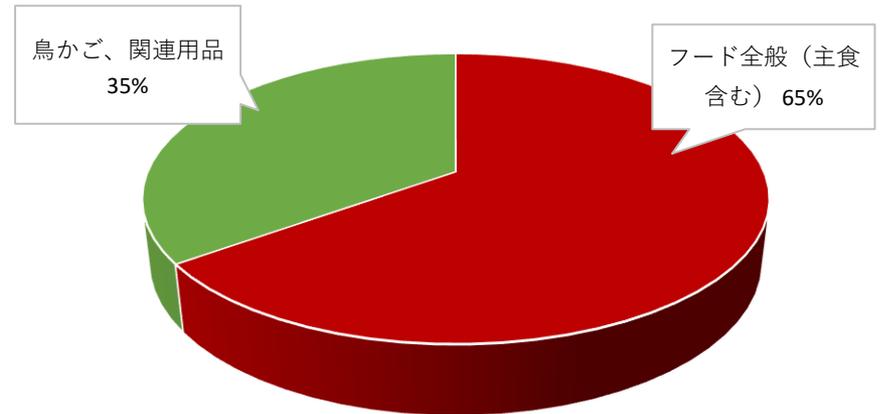
# 小鳥用品に関する統計結果 集計:14社

## ①出荷金額合計の年度比較(単位:百万円)

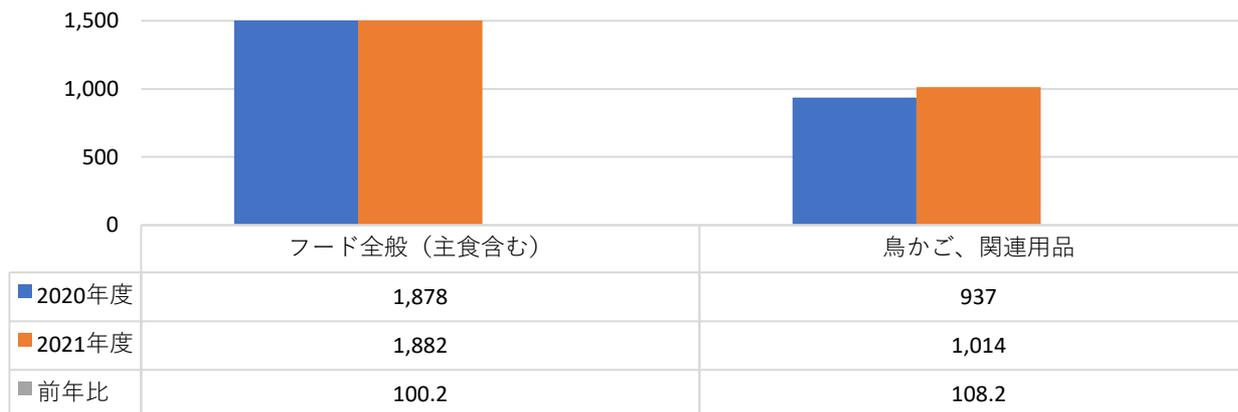
前年度比:102.9%



## ②2021年度 カテゴリー構成



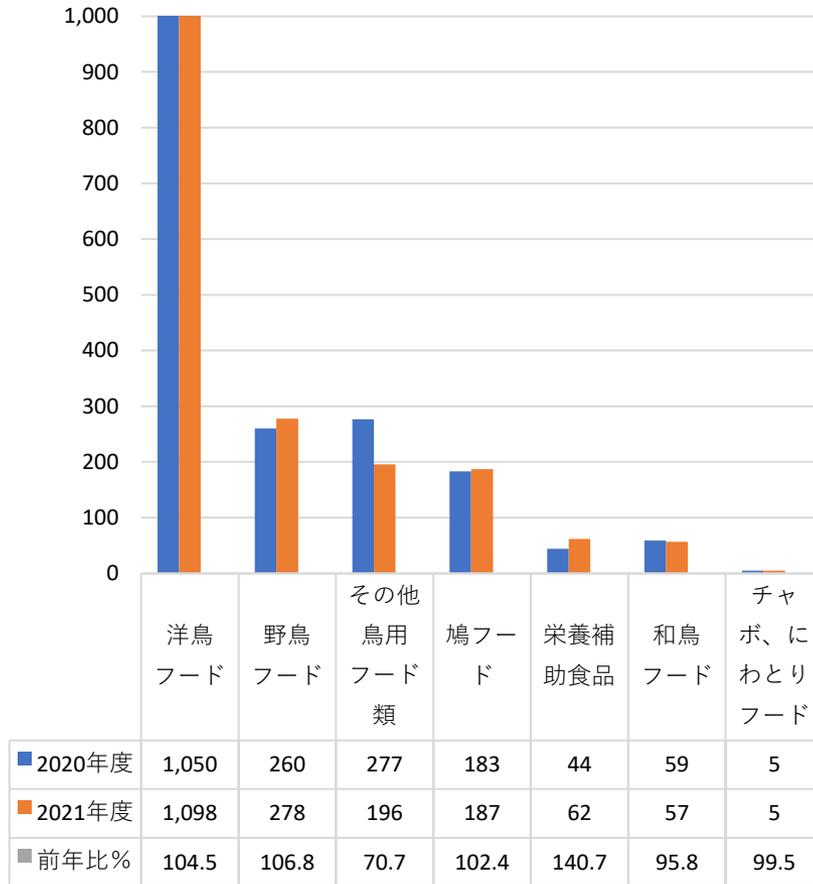
## ③カテゴリー別出荷金額の年度比較(単位:百万円)



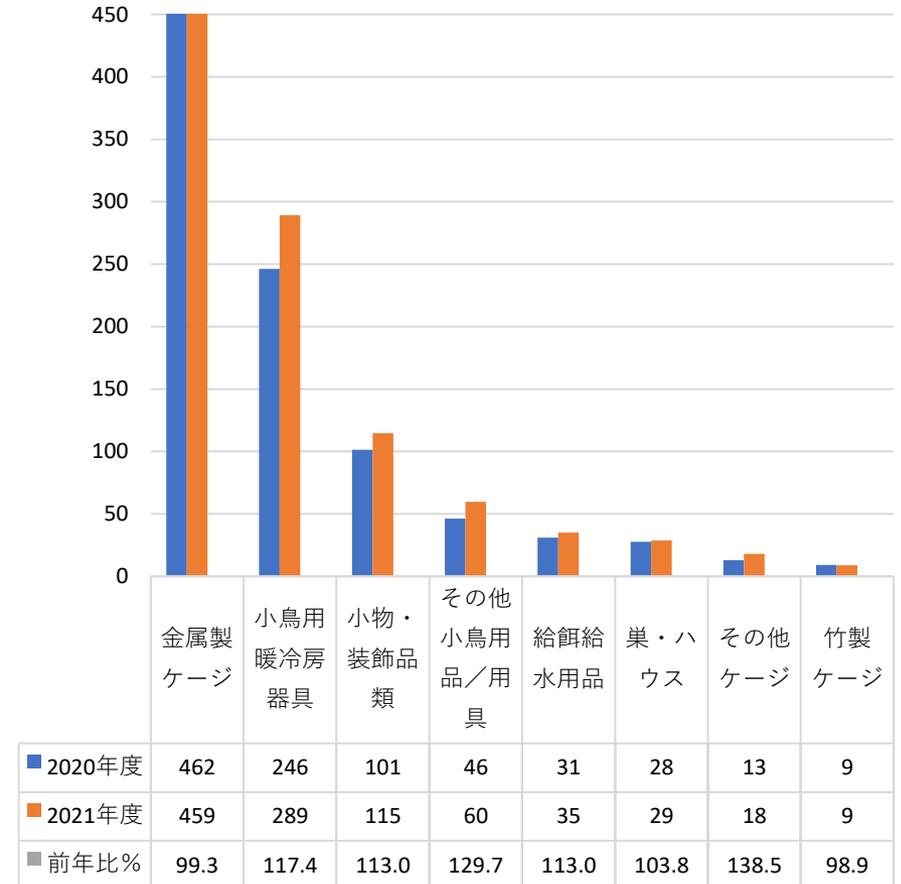
# 小鳥用品に関する統計結果

## ④商品分類別の年度比較(単位:百万円)

### ◇フード全般



### ◇その他用品

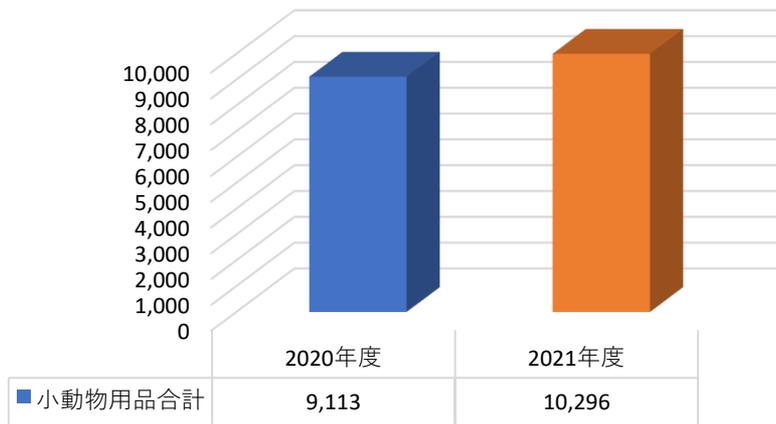


- ※ 鳥インフルエンザの影響で、和鳥、チャボ・にわとりフードの売上が減少した。
- ※ 生体輸入が滞っている中、巣ごもり需要での野鳥の餌付けが伸びている。
- ※ 鳥かご製品については、2020年度の売上の伸び率が高かったため、翌2021年度は微減している。

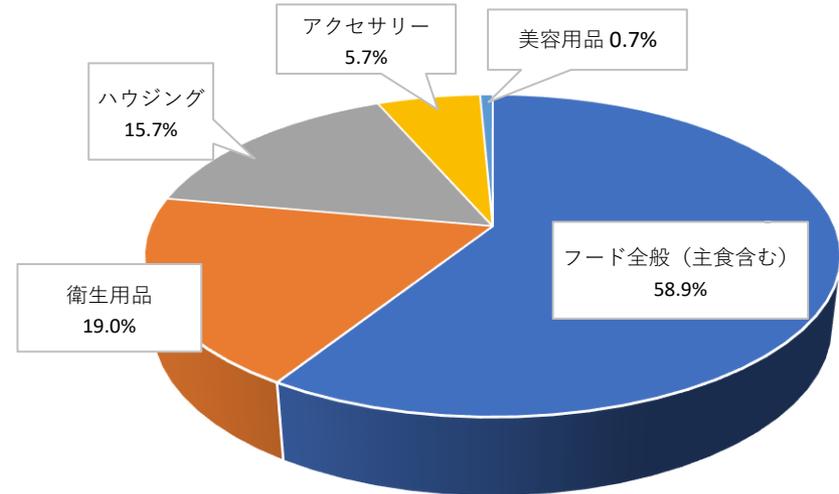
# 小動物用品に関する統計結果 集計:32社

## ①出荷金額合計の年度比較(単位:百万円)

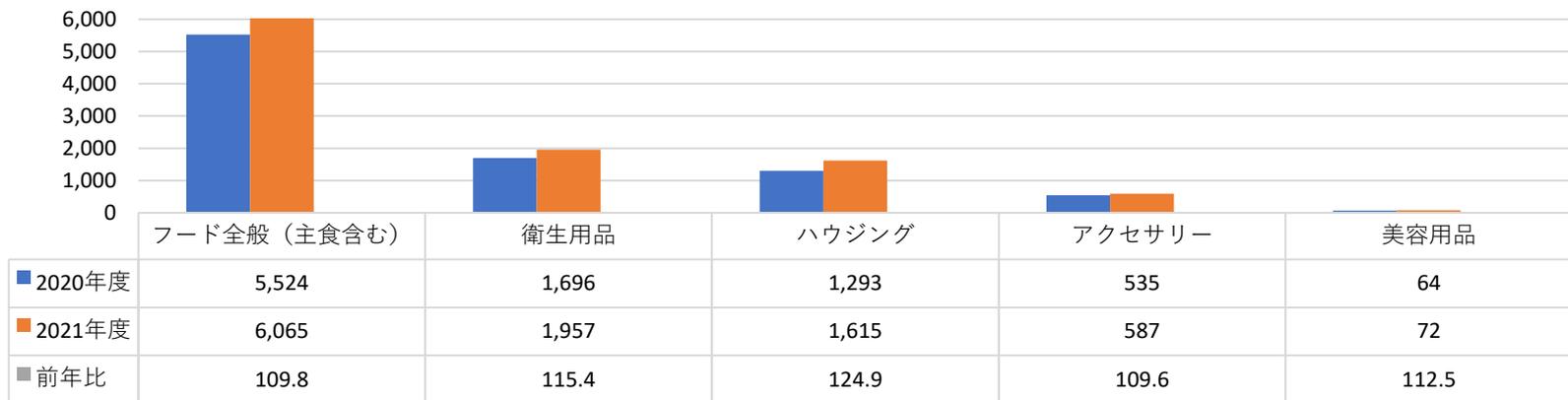
前年度比:113.0%



## ②2021年度 カテゴリー構成



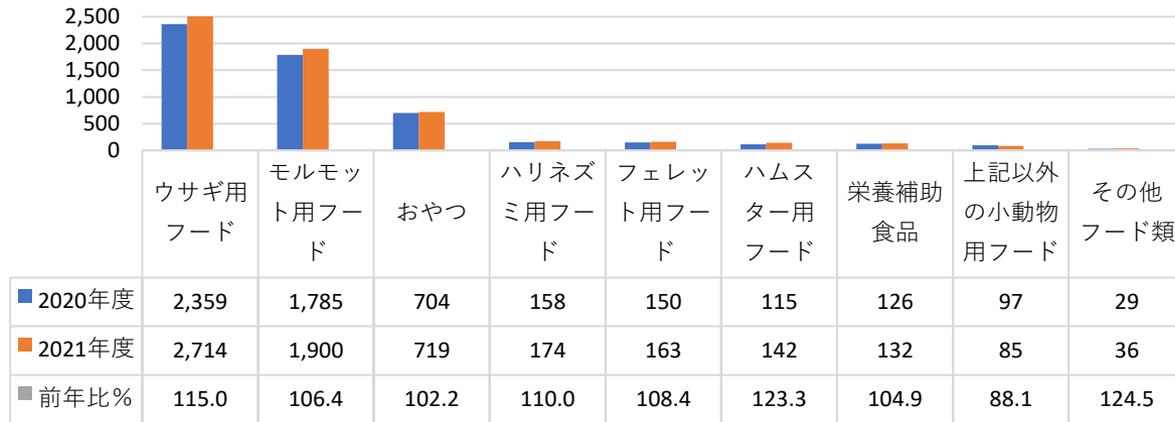
## ③カテゴリー別出荷金額の年度比較(単位:百万円)



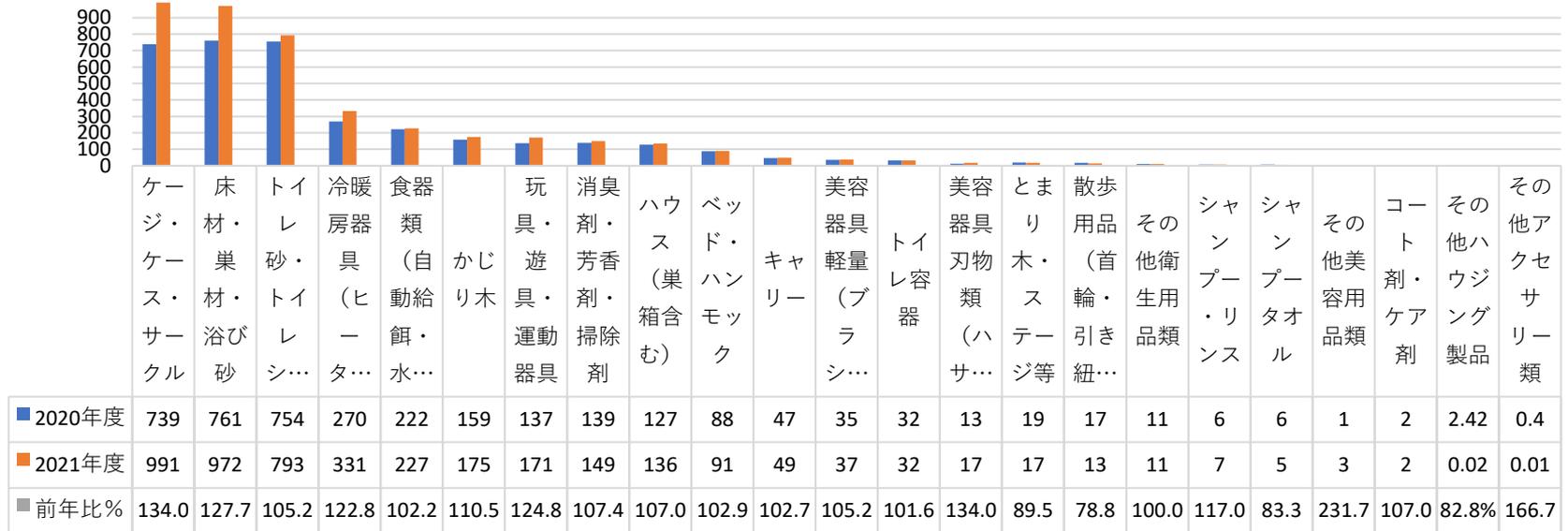
# 小動物用品に関する統計結果

## ④商品分類別の年度比較(単位:百万円)

### ◇フード全般



### ◇その他用品

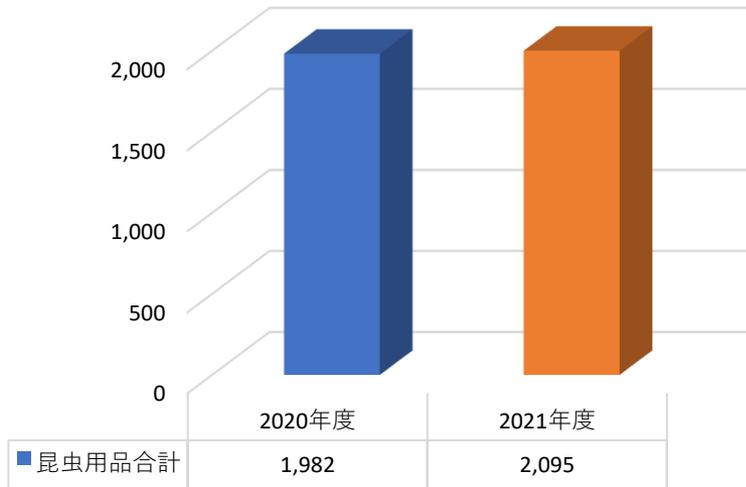


※ コロナの影響でハムスターの新規飼育者の伸び率が増加し、特にケージ類の伸び率が大きい。

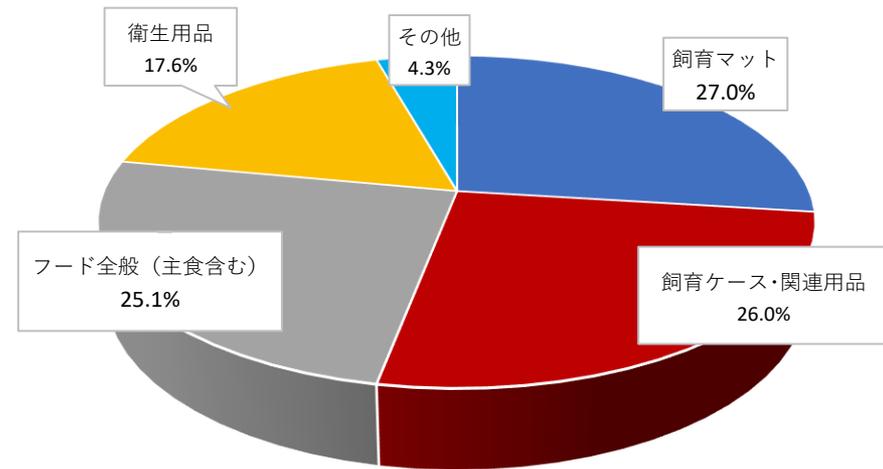
※ 主食から、おやつのお伸び率が高い傾向がある。

# 昆虫用品に関する統計結果 集計:11社

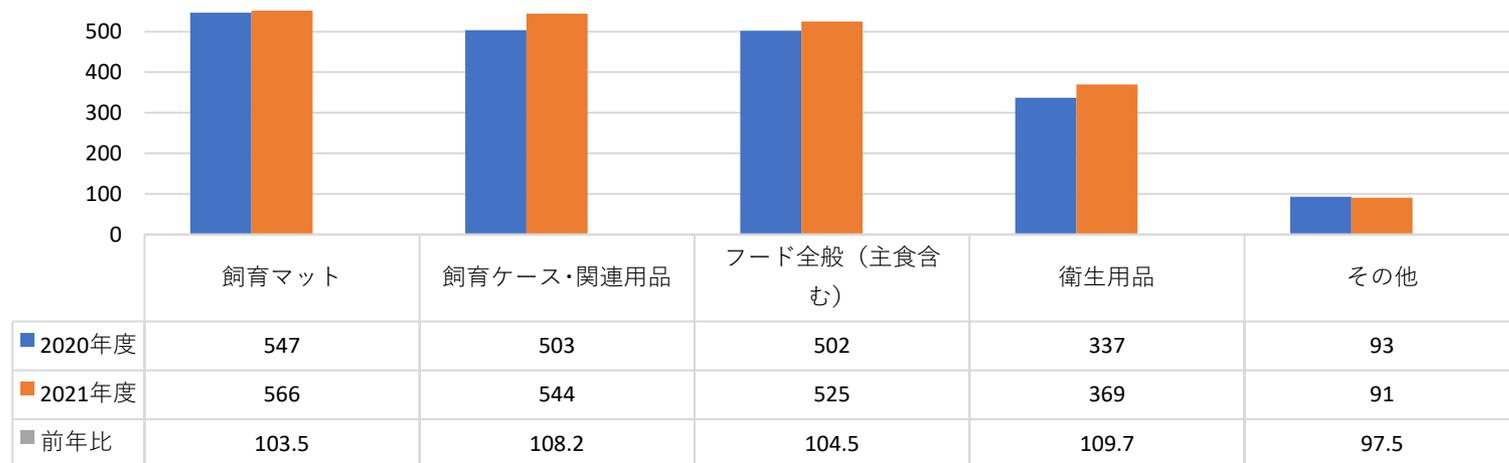
①出荷金額合計の年度比較(単位:百万円)  
前年度比:105.7%



②2021年度 カテゴリー構成

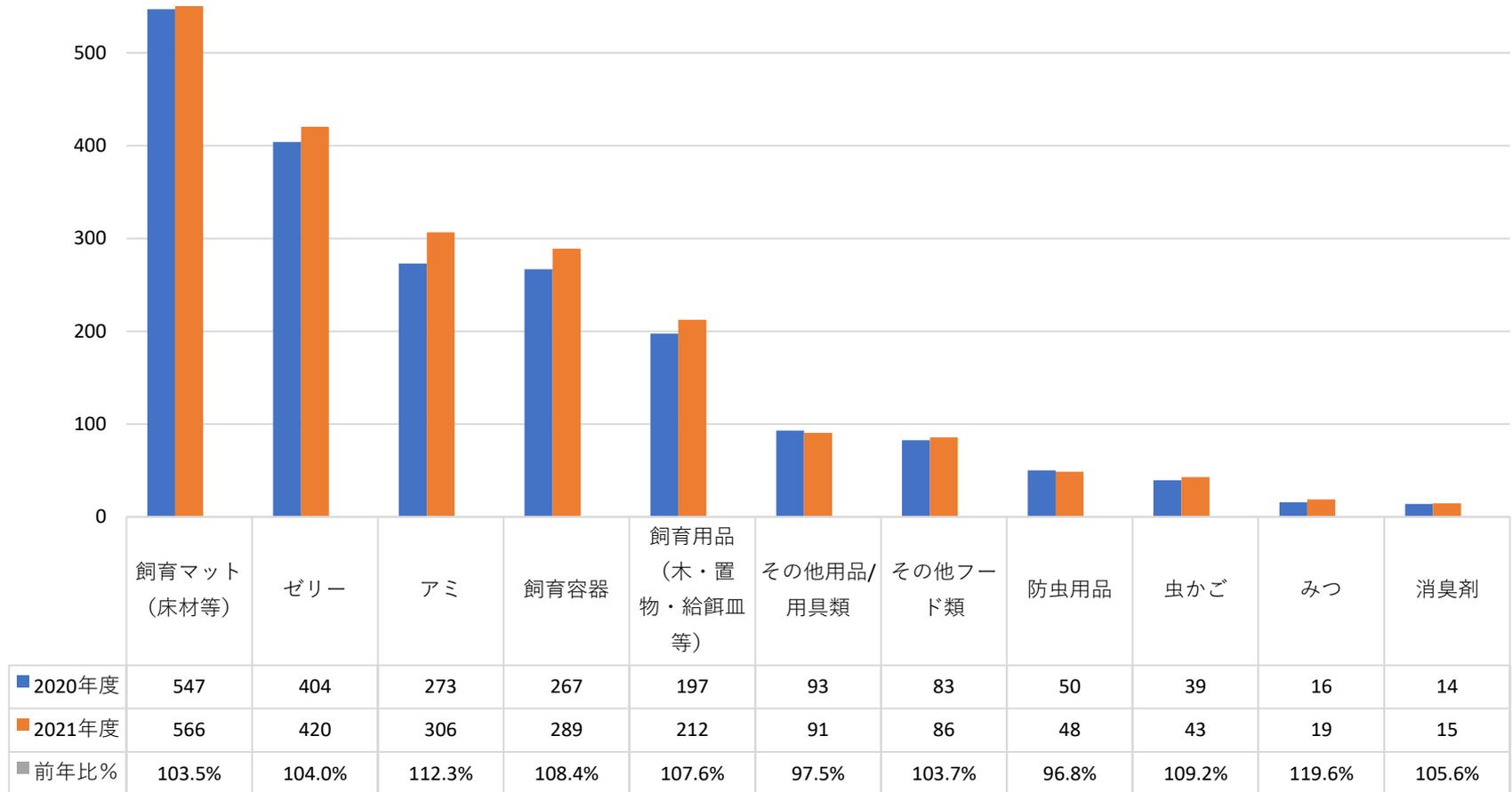


③カテゴリー別出荷金額の年度比較(単位:百万円)



# 昆虫用品に関する統計結果

## ④商品分類別の年度比較(単位:百万円)

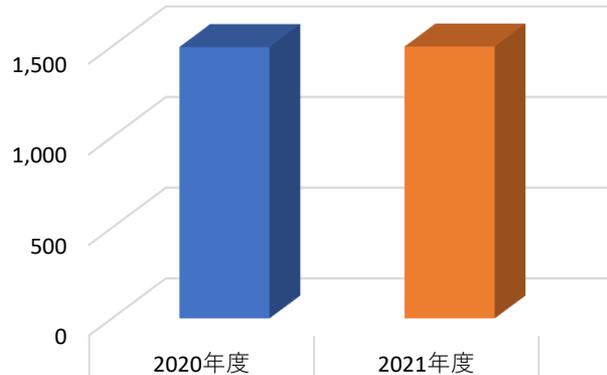


- ※ 巣ごもり需要が増加し、里森に外出する方が多くなり、全体的に売上が増加している。
- ※ 家族連れでキャンプ等に外出する傾向が増え、虫かごとアミ用品の売上伸び率が大きい。

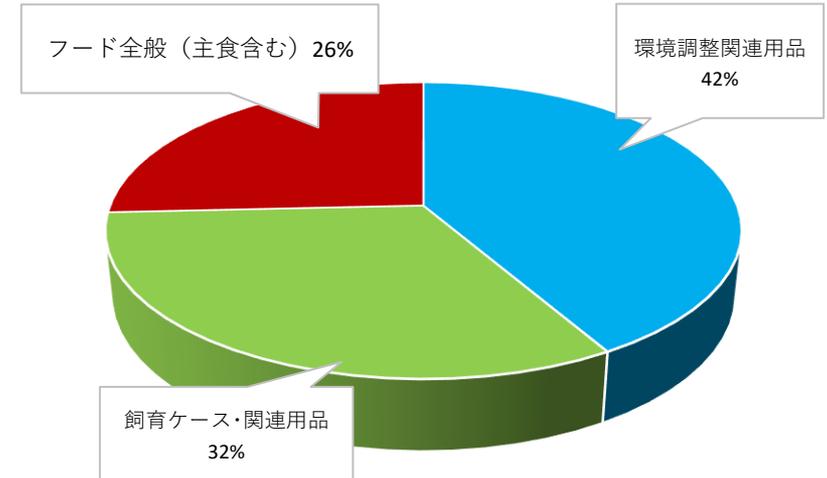
# 爬虫類・両生類用品に関する統計結果 集計:9社

## ①出荷金額合計の年度比較(単位:百万円)

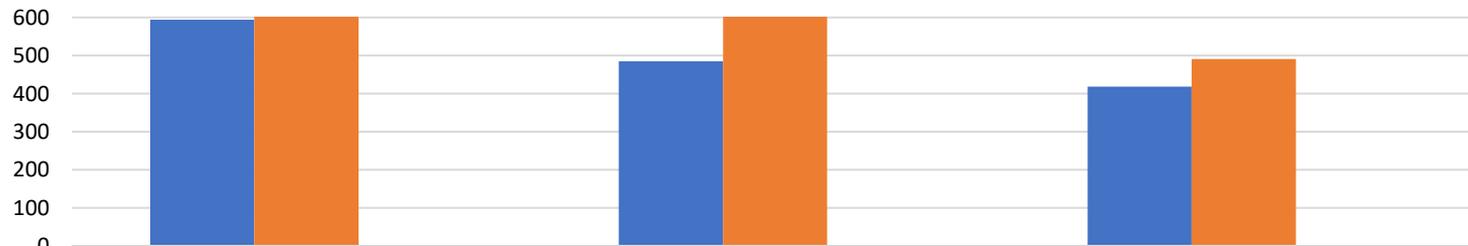
前年度比:127.3%



## ②2021年度 カテゴリー構成



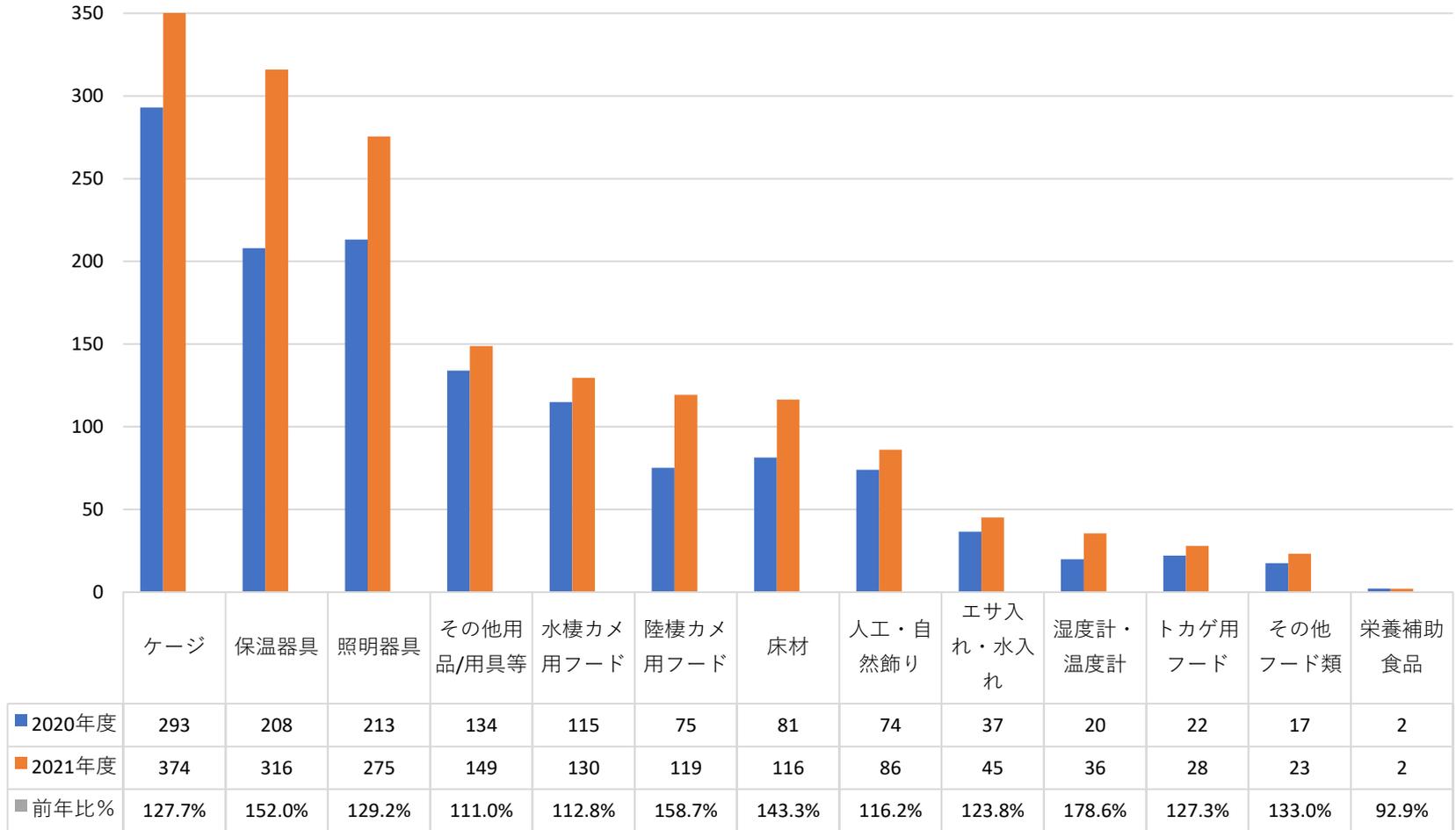
## ③カテゴリー別出荷金額の年度比較(単位:百万円)



	環境調整関連用品	飼育ケース・関連用品	フード全般 (主食含む)
■ 2020年度	594	485	419
■ 2021年度	794	622	491
■ 前年比	133.7	128.2	117.3

# 爬虫類・両生類用品に関する統計結果

## ④商品分類別の年度比較(単位:百万円)



※ ここ5ヶ年、全般的に売上増加率が高く、特に若年層、単身女性の飼育者が増加している。